

こぎん模様についての注意事項

こぎん模様について

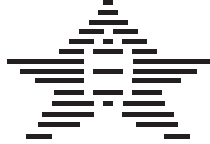
ユニフォームのどこかに必ず入れていただくことが条件の「こぎん模様」についてですが、

オリジナルの模様でも、伝統的な模様を参考にさせていただいてもどちらでも結構です。

〈オリジナル模様の例〉



ハート型



星型

〈伝統的な模様の例〉



伝統的なこぎん模様の参考文献

「津軽こぎん刺し 技法と図案集: 基礎知識・基本と応用技法・モドコの図案を収録した決定版」弘前こぎん研究所 監修

「こぎん刺しの本 津軽の民芸刺繍」布芸展（福田里香、東松陽子）著

「連続模様で楽しむ はじめてのこぎん刺し」日本文芸社 編集

こぎん模様の描き方について

テンプレートにこぎん模様を描く際は、入れる位置・面積・大きさなどが、大まかに伝われば問題はありません。
(デザインが採用された場合には、数回打ち合わせをさせていただき、細かい部分を調整させていただきます。)

下記の例のように、余白部分に模様を一つ拡大して描いていただくと模様のデザインがより伝わりやすくなります。
(余白部分だと足りない場合は、作品PR用紙の「②作品アピールポイント」欄に記入していただいても構いません。)

また、伝統的な模様を参考にされた場合などは、参考にした画像などを貼り付けていただくのも結構です。

〈例〉



テンプレート枠内には、こぎん模様の位置・面積・大きさが大まかに伝わるように描いていただければ問題ありません。

余白部分や、作品PR用紙の「②作品アピールポイント」欄に模様を拡大したものを描いていただくと、模様のデザインがより伝わりやすくなります。